

(別紙) 第1回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
ふるさと 創造部長	<p>1 開会 <加西市ふるさと創造部長あいさつ> お忙しい中、第1回加西市総合政策審議会にご参集いただきありがたく感謝申し上げます。令和4年度の総合計画の事業の外部評価を行うこととしているが、多角な角度から忌憚なきご意見をいただくようお願い申し上げます。</p>
会長	<p>2 委員の紹介 ※昨年度に引き続き、会長を和田真理子委員、副会長を濱本泰秀委員とする。</p> <p>3 議事 (会長挨拶) 昨年度に引き続き会長という重責を担うということでもよろしくお願ひしたい。 春に気球に乗って加西市のまちをみる機会を頂くことができた。上空から田畑やため池など日本の原風景を思わせる加西の魅力を堪能することができた。着陸する際に見られた連携プレーや地域の方との交流など、行政と市民の温かいつながりを感じることができた。 この審議会だが、こうやって様々な立場の方が、市政について話し合う非常に貴重な機会であると感じるとともに、審議会が加西の温かいつながりを広げる場になればいいなど考えている。</p>
副会長	<p>(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方(事務局から説明) ▶ 加西市総合計画が最上位計画であるという説明があったが、基本構想、基本計画、実施計画のうち、どこまでが最上位計画であるのか。 また、地域創生戦略については、大きな方向性をどのように評価しているのか。我々が行う各論の評価ではそれは出来ないと考えている。総合計画と地域創生戦略が2本立てになっているのであれば、それぞれの関連なども踏まえたうえで、各論に対する評価をするのか否か。</p>
事務局	<p>▶ まず1点目であるが、総合計画については、個々の実施計画が達成され、基本計画が達成され、基本計画が達成されることで、基本構想が達成されるものとなっている。そのため、基本構想から基本計画まで含めたものが最上位計画とご認識いただきたい。 2点目については、創生戦略は平成26年に国が立上げ、加西市では平成27年10月に加西市地域創生戦略を作っている。副会長が仰るように、人口減少をどのように鈍化させるかに特化した計画であるが、総合計画と同様の事業を地域創生戦略のアクションプランに掲げている。そのため、加西市では令和2年度の見直しの際に、総合計画と地域創生戦略を一体化し、事業を合わせている。</p>
副会長 事務局	<p>▶ 地域創生戦略の人口動向についての取組を検証する会議体はないということか。 ▶ まち・ひと・しごと創生推進本部を立ち上げており、行政内部での会議にはなるが、検証を行っている。 次回の総合計画の見直しの際には、戦略に関わる部分も含め、総合政策審議会にデータをお示しすべきと考えている。</p>
副会長 事務局	<p>▶ できれば経緯、進捗の確認ができるデータだけでも見せていただきたいと思う。 また、先ほどの最上位計画の認識について伺いたいが、具体的な取組まで最上位計画としてしまうと、やりにくさもあるだろうから、基本構想のみが最上位計画であると考えた。トップが変わると計画も変わるのではないか。 ▶ もちろん新市長になれば、個々の事業等部分的な見直しの指示がある場合はある。総合計画の見直し周期については、基本構想については10年、基本計画については5年だが、実施計画については3年となっており、毎年見直しの中で対応が可能となっている。</p>
委員 事務局 委員	<p>▶ 資料の中に、市長の求めに応じ調査、審議を行うとあるが、この点についても先ほどの話と同様と捉えてよいか。 ▶ 審議会の在り方や、審議会と市長との関係については変わらないものである。 ▶ 区長という立場で地域の現状に危機感を抱いている。例えば空き家対策のことが書かれているが、実際には単純に空き家に住むだけではなく、地域との付き合いなども</p>

事務局	<p>含めて考えなければならず、移住のハードルは高いのでグループで入る等の形も考えられる。</p> <p>本当に町をどうするのか考えないといけないと思われるので、総合計画の中にもっと具体的な内容があっても良いのではないかと。</p>
委員	<p>➤ 例えば法体系でいうと、総合計画は憲法に相当するものであり、個々の計画が各分野の法律に相当する。個別具体的な内容については、各分野の計画で定めているため、総合計画に対して、ぼんやりしているという印象になるとご理解いただきたい。</p>
事務局	<p>➤ 首長の交代により、事業の継続、見直しがあると思うが、実施計画などは影響を受けるのか。</p> <p>➤ 市の方向を全く変えてしまう場合は、基本構想の見直しということもあり得るが、方向性自体が大きく変わらないのであれば基本構想の見直しはない。例えば病院や学校の在り方に関して言えば、大きな方向性は変わらないが、そのために病院をどうするのか、学校をどうするのかという点についてはこれから見直しが発生する可能性はある。</p>
委員	<p>➤ 病院、学校がどう変わっていくのか、我々市民としては気になっているところであるという点を伝えておきたい。</p>
会長	<p>➤ 新市長の就任に伴い、計画の継続性、どのように変わるのかという点については、市民の関心も高いと思われる。この審議会としては、これまでの施策の評価検証が主な役割なので、基本的には昨年と同様に、着実に進めていけばいいと認識している。</p>
副会長	<p>(2) 実施計画(令和4年度実績)における評価・検証について (事務局から説明)</p> <p>(3) 内部評価の概要 (事務局から説明)</p> <p>➤ PDCAの話だが、チェックからアクションまでに半年を要している。内部評価も完結していないとの話もあり、遅い印象を受ける。</p>
事務局	<p>➤ 内部評価が遅くなっているのは、昨年度の決算が確定するのを待ってKPI評価が完了する部分があるためであり、それ以外の部分については完了している。</p>
委員	<p>➤ 評価シートの書き方であるが、年度が変わっても内容に差異がみられないなど不十分な箇所が見受けられたので、新しい取組などしっかりと書いてほしい。</p>
事務局	<p>➤ そのようなことがないように、担当課にも十分に注意喚起を行う。</p>
委員	<p>●部会について(事務局から提案)</p> <p>➤ 第3回、第4回の出席が厳しいので、代わりをお願いしたい。</p>
事務局	<p>➤ 別途調整させていただく。</p>
会長	<p>➤ 結構な分量の資料が届くと思うが、委員の皆様にはよろしくをお願いしたい。</p>
副会長	<p>4 その他</p> <p>➤ 残存定住率については実数を教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>➤ 世代人口は減っていると思われる。</p>
副会長	<p>➤ 率だけを見ると安堵してしまう面がある。実数で見ると危機感を感じる必要もある。</p>
事務局	<p>➤ 実数については次回お示ししたい。</p>
副会長	<p>閉会挨拶</p> <p>この審議会では総合計画を検証し、PDCAを回すものである。第2回、第3回が山場であり、膨大な資料が届き、それを読んでいただかなければならない。お忙しいとは思いますが、まずは読んでいただき、普段の生活の視点で感じたことを行政にぶつけていただきたい。良い部分は褒め、不足に感じる部分は叱咤してもらおうなど、市政に対し関心を持ち、様々な話をさせていただければと思う。</p> <p>後3回、ハードな会議になるが、よろしくをお願いしたい。</p>